

アンドリュー・ラルフルアイア研究員（インド）



はじめまして。私はインドから来ましたアンドリュー・ラルフルアイアと申します。母国のインドでは、インド東部にあるミゾラム州という自治体の都市開発・貧困軽減局で働いています。業務は都市計画の分野で内容は多岐にわたります。都市部における都市の計画及び開発は都市開発・貧困軽減局を通じて遂行されます。例えば、スマートシティや近代技術の利活用、新輸送システムの検討なども含まれます。また、同局では低所得者に対する住居整備や職業訓練などの支援も行っています。私は他の防災担当部局などと連携を保ちながら、この都市開発の分野における担当職員のひとりとして通常業務に対応しています。

日本は防災の分野において豊富な経験があることで知られています。今回は、このような機会に触れることができる客員研究員として選考して頂いたことに深く感謝します。また、アジア防災センター（ADRC）の職員の方々や、他の様々な国からの客員研究員の皆様に会えることを本当に嬉しく思います。

客員研究員としての滞在中、私はコミュニティレベルにおける地滑り対策に関する防災を研究テーマとしたいと思います。地滑り被害は私の住むミゾラム州において抱えている大きな問題で、この問題を解決するため本研究が貢献できると思います。自国での防災に役立てることができるよう、客員研究員として多くのことを学びたいと思います。